

交通事故件数の推移（令和２年～令和６年）

大分東署管内 状態別の事故件数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	過去5年の合計	過去5年の割合	令和6年の割合	令和6年県下の割合
人対車両	26	30	21	27	28	132	9.1%	9.2%	12.5%
正面衝突	5	8	10	8	14	45	3.1%	4.6%	3.8%
追突	144	113	143	118	126	644	44.6%	41.2%	39.2%
出会い頭	80	49	62	47	69	307	21.3%	22.5%	21.2%
右左折時	32	29	30	32	29	152	10.5%	9.5%	10.7%
その他	36	30	31	19	36	152	10.5%	11.8%	11.0%
単独	2	2	1	2	4	11	0.8%	1.3%	1.7%
合計	325	261	298	253	306	1443			

大分東署管内の特徴（令和６年中）

大分県全体の割合と比べて

- ・ 正面衝突
- ・ 追突
- ・ 出会い頭

の割合が高い

大分東署管内 路線別の交通事故件数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和５年	令和6年	年平均
R197	81	57	72	56	55	64.2
大分臼杵線	23	9	16	20	26	18.8
大在大分港線	15	14	24	19	31	20.6
鶴崎大南線	20	20	27	27	25	23.8
県道	25	24	20	19	19	21.4
市道	138	111	120	97	121	117.4
広場等	23	26	19	15	29	22.4
合計	325	261	298	253	306	288.6

特徴

- ・ 交通事故が多い路線は、
国道１９７、大分臼杵線、大在大分港線、鶴崎大南線
- ・ 事故が多い上記４つの路線の特徴として追突事故が多い
国道197 321件中、215件が追突
大分臼杵線 94件中、50件が追突
大在大分港線 103件中、75件が追突
鶴崎大南線 119件中、63件が追突